

「入来小学校のジュニア歴史ガイド学習の取組」

1 学校名

薩摩川内市立入来小学校

2 学年・人数

3年生～6年生 計101人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和元年通年 ふるさと・コミュニケーション科 3時間
入来小学校

(2) 発表の日時・場所

入来小学校児童による入来麓武家屋敷群を観光客への歴史ガイド
入来武家屋敷群（旧増田家住宅，茅ぶき門，お仮屋馬場，清色城跡）
5／10（鹿児島純心女子大学1年生176人，ガイド4年生21人）
6／20（入来町高齢者大学52人，ガイド3年生27人）
7／30（日中友好交流事業20人，ガイド15人）
9／19（筑紫野市立二日市中学校40人，ガイド5年生29人）
10／20（いきいきファミリーハイキング770人，ガイド14人）

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

- ・ 旧増田家住宅（きゅうますだけじゅうたく）明治時代
- ・ 茅ぶき門（かやぶきもん）江戸時代
- ・ お仮屋馬場（おかりやばば）戦国時代～江戸時代
- ・ 清色城跡（きよしきじょうあと）戦国時代～江戸時代

(2) 特徴

入来麓は、清色城と一体となった歴史的景観を持ち、ゆったりとした雰囲気
で自然と調和しており、玉石垣群と生垣等の緑あふれる整然としたたたず
まいを残している武家屋敷群である。また、麓が中世（戦国）城下にその起
源を有し、山城の麓や谷間に家臣を集住させたことをうかがわせるもので
あり、特に、河川を天然の堀に見立ててその内側に集住地を配することは、
軍防を主とした戦国期の城下形式の代表的な例である。

5 保存会や地域との連携の具体

伝建保存会の方々に子どもたちがガイドを行うにあたって、入来麓の各史
跡について必要な事柄を説明していただくようお願いした。また、おもてな
しの心をもって子どもたちが説明するために、わかりやすく、心に届くよう
な話し方を児童の保護者でもある現役のバスガイドさんへ話し方の学習を依頼
した。

6 活用の取組の工夫した点

ただ、メモなどを見てガイドをするのではなく、

- 1 笑顔で話すこと

- 2 早口にならないこと
- 3 反応を見ながら感謝の気持ちでガイドをすること等に気をつけてガイドするように研修をした。

7 取組の様子



バスガイドさんから話し方について研修



伝建保存会の方から史跡についての学習



歴史ガイド（お仮屋馬場）



歴史ガイド（旧増田家住宅）

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【児童】

- ・ お客様に、「ありがとう。入来麓の歴史がよく分かった。」と言われたとき、とてもうれしい気持ちになった。
- ・ 観光客の方々にほめてもらえるので発表することが好きになった。
- ・ 自信をもって大きな声で発表することができるようになった。

【保護者】

- ・ ジュニア歴史ガイドをすることによって、地域の観光にも貢献できるので、大変良い体験ができると思って参加させている。
- ・ 地域の文化財を紹介することにより、地域のよさを知って、地域に誇りがもてるようになってきている。

【保存会】

- ・ ジュニア歴史ガイドに参加することで、子どもたちが入来の歴史に関心をもってほしいと思っている。

【教職員】

- ・ ジュニア歴史ガイドを体験することによって、子どもたちが 入来の良いところを再発見するとともに、入来の歴史に関心をもち、郷土愛を育ててほしい。